在宅医療支援システム研究会次第

日時　令和８年９月２９日（火）
１８時３０分～
場所　介護老人保健施設くろかみ　研修室

１　開　　会

２　あいさつ

３　報告、情報提供
① 菅生診療所の休診について(健康医療課)

② 「おれんじ通信にいみ」について(高齢者支援課)

③ 「ピオーラカフェ」(9/30)、「令和８年度新見福祉大会」(11/27)の案内、「赤い羽根共同募金運動」について(新見市社協)

④ 「若手医療・介護従事者交流会」(8/29)の報告(まんさく)

４　協議事項

次回開催日
令和 ８ 年　　月　　日（　　）

おれんじ通信にいみ Vol.16

R8.9月
発行

世界アルツハイマー月間2026

９月は「世界アルツハイマー月間」です。日本でも「認知症月間」と定められ、認知症についての関心と理解を深める取り組みを行っています。また、９月２１日は「世界アルツハイマーデー」です。

認知症は、誰もがなる可能性があり、家族や身近な人にも起こり得る、私たちにとって身近な病気です。

認知症に対する皆さんの関心や理解が、誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながります。



出前講座「新しい認知症観」

「新しい認知症観」とは、認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること、やりたいことがあるという考え方です。

住み慣れた地域で仲間とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができるよう認知症について考えてみませんか。



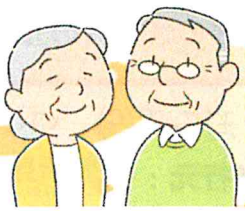
「認知症本人座談会」に参加しませんか

認知症の本人同士で語り合い、暮らしやすい地域をともにつくりましょう。初めての方もお気軽にご参加ください。

当日は、認知症本人大使　藤田和子さん（鳥取市在住）をお招きして、認知症になっても住みやすい地域づくりについて楽しくおしゃべりします。

日　時：令和８年１１月６日（金）１４：００～１５：００
場　所：新見市役所　南庁舎　１階ＩＣ
申込み：新見市地域包括支援センター
　　電話（０８６７）７２－６２０９

要予約
参加無料



脳トレに挑戦！

①ひらがな並べ替えクイズ

ひらがなを並べ替えて言葉を完成させてください。

(1)ぼ＋ゃ＋か＋ち＝

(2)う＋よ＋こ＋う＝

(3)ぐ＋ん＋ど＋り＝

(4)か＋ど＋う＋い＋ん＋う＝

(5)ぼ＋ま＋り＋っ＋つ＋く＝



解答は
ページ下部に
あります

新見市内のオレンジカフェ(認知症カフェ)

ゆずり葉カフェ

【開催日時】
日　時：10月17日(土)、12月12日(土)
　　10:00～
参加費：200円
会　場：特別養護老人ホームゆずり葉
　　1階交流スペース
【問い合わせ】
特別養護老人ホームゆずり葉（新見）
☎71-0077

ピオーラカフェ

【開催日時】
日　時：奇数月第4水曜　13:30～
参加費：200円
会　場：新見市地域福祉センター
【問い合わせ】
新見市社会福祉協議会(金谷)
☎72-7306

カフェきらめき

【開催日時】
日　時：毎月第1水曜　13:30～
参加費：200円
会　場：きらめき広場哲西
【問い合わせ】
NPOきらめき広場(哲西町矢田)
☎88-8112

おれんじカフェおおさ

要申込み！

【開催日時】
日　時：9月24日(木)、12月10日(木)
　　13:30～15:30
参加費：100円
会　場：わが家
【問い合わせ】
小規模多機能ホームわきあいあい(大佐)
☎98-3737

さくらの丘カフェ

【開催日時】
日　時：11月12日(木)　13:30～
参加費：100円
会　場：神郷公民館新郷分館
【問い合わせ】
にいざとさくらの丘　☎93-9051

予定は変更になる
場合があるので、
各カフェにお問い
合わせください。



解答：①(1)かぼちゃ　(2)こうよう　(3)どんぐり　(4)うんどうかい　(5)まつぼっくり

■発行元：新見市 NIIMI CITY　新見市役所　地域包括支援センター　☎0867-72-6209

令和8年度
にいみ福祉大会

地域で行われている福祉活動を多くの方に知っていただき、多くの地域に広がっていくことを目指して、福祉大会を開催します。
認知症の方の活躍の機会などを手がけた、小国士朗さんによる記念講演も行います。

11月21日(土) 13:30～16:00

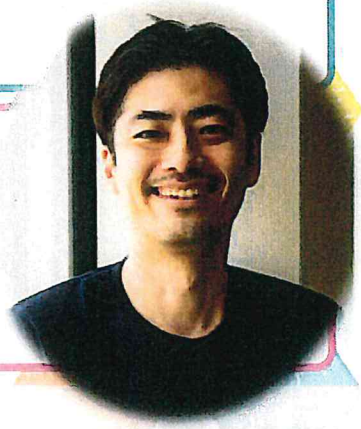
会場：まなび広場にいみ大ホール
（新見市新見123-2）

支え合い活動の取組発表

唐松地区の地域福祉活動について
唐松地区まちづくり協議会

記念講演

社会課題の見え方がぐるりと変わる企画術
講師：小国　士朗（株式会社小国士朗事務所　代表取締役）



【講師紹介】
2003年NHKに入局。ドキュメンタリー番組制作のかたわら、大ヒットアプリの企画立案や動画配信サービスの編集を行う。個人的プロジェクトとして、認知症の人がホールスタッフをつとめる「注文をまちがえる料理店」を手がける。
2018年6月にNHKを退局。現在はフリーランスのプロデューサーとして活躍中。

【申し込み方法】
電話またはメールにより、住所・氏名・電話番号をお知らせいただくか、上記二次元コードを読み取って申し込みください。
(締切11/6)

申し込みフォーム

お問い合わせ先
☎0867-72-7306　✉syakyo-honsho1@ex.city.niimi.okayama.jp

◆主催：社会福祉法人新見市社会福祉協議会　◆後援：新見市

奇数月第４水曜日に定期開催！



ピオーラカフェ

令和８年

９月３０日(水) １３：３０～１５：３０

場所：新見市地域福祉センター



ピオーラカフェは、認知症の人やそのご家族だけでなく、誰でも気軽に参加できるカフェです！声をかけあって連れのぉて来てね♡

第３１回の内容

『歌って　動いて
元気になろう！』

新見公立大学　非常勤講師
音楽健康指導士

吉村　淳子氏



認知症・介護に関する相談ブースも設けています。
ご予約は不要です。
参加費は２００円です。
たくさんのご参加をお待ちしています♪



次回は
11月25日
開催予定！



お問い合わせ

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会
新見市金谷 640 番地 1
(0867) 72－7306 (代表)

回覧

写

赤い羽根共同募金のお願い

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金

皆さまからのあたたかいご理解とご協力により、新見市では令和7年度総額6,075,036円（目標達成率126.6%）のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

また、配分金についても、それぞれ別表のように活用させていただきました。

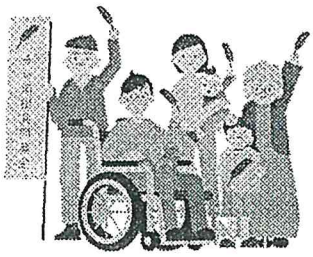
赤い羽根共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ。」をテーマに、身近な地域での様々な福祉活動を支えています。

本年も引き続き、皆様からのご支援をお願いいたします。



岡山県共同募金会 新見市共同募金委員会

社会福祉法人 新見市社会福祉協議会



令和7年度 実績報告





各世帯から
集まった募金
（戸別募金）
3,953,500円

児童・生徒から
集まった募金
（学校募金）
29,493円

企業や個人等
から募った募金
（大口募金）
951,000円

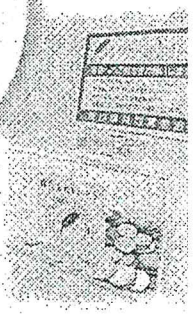
自動販売機の
売上募金
30,884円

募金総額

6,075,036円

行政や福祉施設
学校等の職場で
募った募金
（職域募金）
705,528円





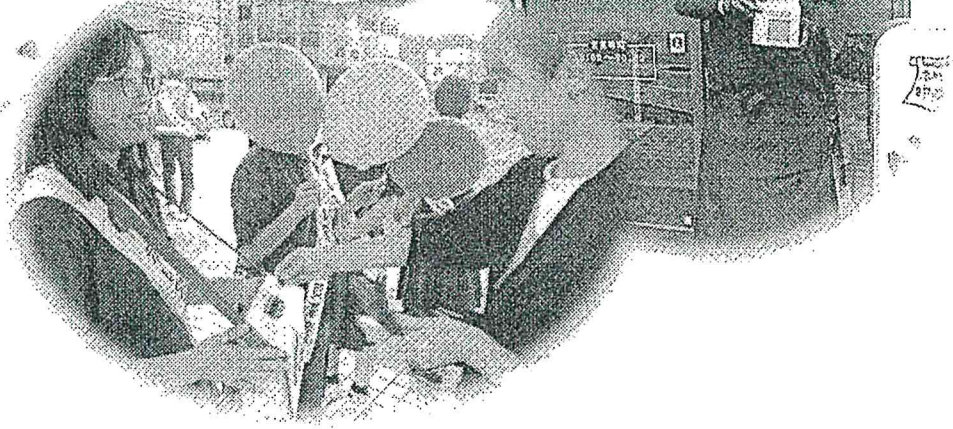
店頭で声掛けして
集まった募金
（街頭募金）
32,230円

お店の募金箱に
集まった募金
（店頭募金）
177,755円

その他の募金
54,814円

イベントで
集まった募金
（イベント募金）
139,832円





共同募金の使いみち

皆さまからいただいた募金は、新見市の子どもたち、高齢者、障がい者などを支援するさまざまな福祉活動のほか、災害時には被災地支援などにも役立てられています。





見守り訪問事業 51%

★ともに支え合い、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進しています。

・福祉委員事業　・友愛訪問事業

広報・啓発事業 23%

★地域住民に向け共同募金活動や地域福祉について広報・啓発をしています。

・社協だよりの発行
・福祉大会の開催

地域福祉推進事業 13%

★「ふれあいの場」や担い手育成に向けて推進しています。

・ふれあいサロン活動
・その他各種講座など

地域防災強化特別支援助成 7%

★災害発生時に備えた災害対応資材の整備や災害時を想定した「備え」の意識醸成を図ります。

・災害ボランティア養成講座

ボランティア推進事業 4%

★福祉の心を育み、やさしさあふれる地域づくりを推進しています。

・ボランティア養成（災害）
・福祉教育





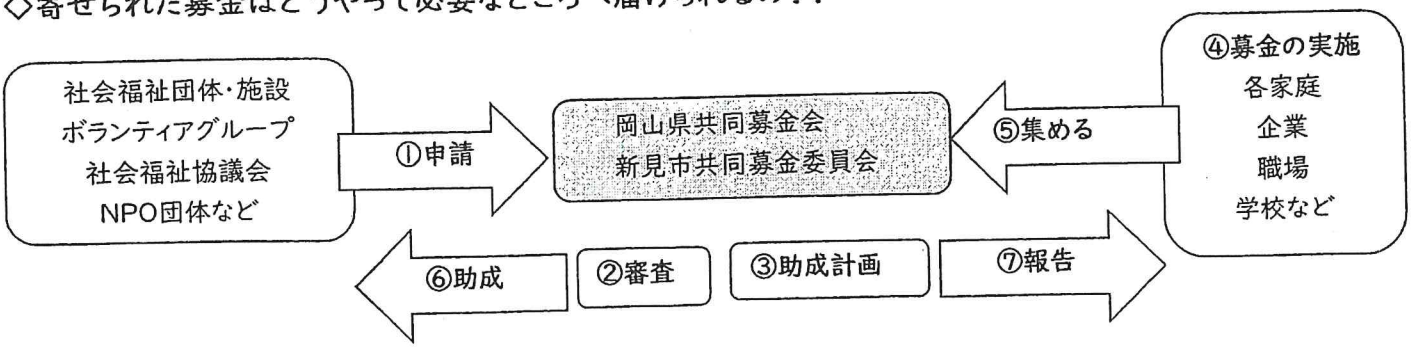
団体助成 2%

★地域で活動する団体へ助成しています。

・地区社会福祉協議会
・子ども会連合会
・手をつなぐ育成会
・幼児クラブ

募金へのご協力ありがとうございました！

◇寄せられた募金はどうやって必要なところへ届けられるの??



赤い羽根共同募金は「共同募金会」という民間の団体によって、都道府県を単位として行われます。新見市内で寄せられた募金は一度岡山県共同募金会で取りまとめられ、助成申請に基づき、その翌年に新見市内の福祉施設や団体、社会福祉協議会に配分し活用されます。また、岡山県内の福祉活動や県域を越えた災害支援にも活用されています。

◇「赤い羽根協力店」(店頭募金にご協力いただいている商店、団体など)

※名称は令和７年度末時点のものです(順不同・敬称略)

千屋温泉いぶきの里	新見市観光協会	備中路	こめ工房
サンパーク 新見店	栄華楼	焼き肉レストラン千屋牛	道の駅鯉が窪
まるだい	山金 新見店	JA 大佐支店	ささきストアー
ジュンテンドー新見店	ほっかほっか亭	JA 大佐営農経済センター	郷趣膳 水上
味の庄 伯備	(一社)新見福祉振興会	ももや	安達動物病院
新見公立大学	JA あしん広場	らーめん大和	みすみストアー
A コープあしん	にいみ茶屋	JA 神代支店	生熊石油
田中実業新見 SS	エディオン新見店	神郷温泉	大森車輌
ぽぱい	カットサロン Leaf	レストランしんごう	一晃
フナコシ	CHARME HAIR&SPA	JA 新砥営農経済センター	ウイング・ヘアー本店
手作り工房 Romi	手作りコロッケ岡ちゃん	JA 哲多支店	JA 野馳営農経済センター
頌山堂カフェ標	Y ショップ岡本	本郷郵便局	
新見美術館	ふれあいセンター満奇	JA 矢神支店	

その他行政関連施設、新見市社協本所・各支所

◇赤い羽根自動販売機設置場所(順不同・敬称略)

社協本所(地域福祉センター)	新見駅前交流センター	熊谷市民センター

募金箱や自動販売機を見かけたときには募金へのご協力をよろしくお願いします

八十周年

ありがとう。
これからも一緒に。






今年の募金は、このように使われます。

県・市町村社会福祉協議会が行う地域福祉活動に	19,750万円
ボランティア団体・NPO法人等の福祉活動に	1,650万円
県域福祉関係団体の活動に	600万円
児童養護施設の子どもたちの体験活動等に	500万円
福祉施設の備品・車両整備、施設の改補修に	1,700万円
生活困窮者への緊急支援活動に	550万円
大規模災害時の被災者救援ボランティアの活動支援(災害準備金の積立)に	1,200万円
災害見舞金・県内被災地支援に	800万円
歳末たすけあい支援事業(地域歳末たすけあい・NHK歳末たすけあい)に	6,000万円
共同募金運動の推進(募金資材・広報活動等)に	7,250万円

共同募金への寄附は、税制上の優遇措置が受けられます。

法人の寄附

株式会社など法人の寄附は「全額損金」となります。

個人の寄附

所得税、住民税の両方で控除が受けられます。

じぶんの町を良くするしくみ。
赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金

赤い羽根 検索 www.akaihane.or.jp

岡山県共同募金会
ホームページ

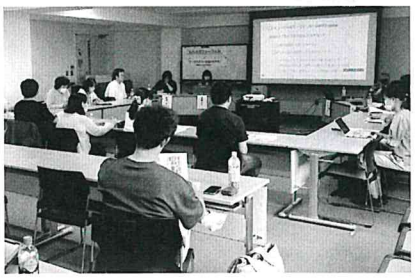
↑Web募金は
こちらから

ありがとうメッセージ



皆様からお寄せいただいた募金は、県内の福祉施設や福祉団体、社会福祉協議会が行う地域福祉サービス、ボランティア団体・NPO法人が行う支援活動などに助成しています。
昨年度、共同募金の助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」の一部をご紹介します。

フォーラム開催



家事や家族の世話を日常的に過度に担っているこどもや若者の抱える問題を一緒に考える「もみの木フォーラムⅣ」を開催しました。様々な立場の人が集い、多くの智恵や手段が生まれ、連携していくことの大切さを改めて考える場になりました。こども・若者ケアラーが自分らしく生きていくための支援に活かせます。
本当にありがとうございました。

こども・若者ケアラー支援センター
もみの木（岡山市）

空き家を活用したまちづくり事業



以前は地域住民の交流の場にもなっていた、「気軽に歩いて行ける近所のお店」の空き店舗を活用し、居場所をつくりました。再び人と人がつながる機会を提供することができ、過疎化する地域の活性化に寄与しています。
また、引きこもり当事者などにスタッフとして働いていただくことで、次のステップに向けた体験の場も提供できました。

瀬戸内市社会福祉協議会（瀬戸内市）

生活困窮者を支えていくための相談支援事業

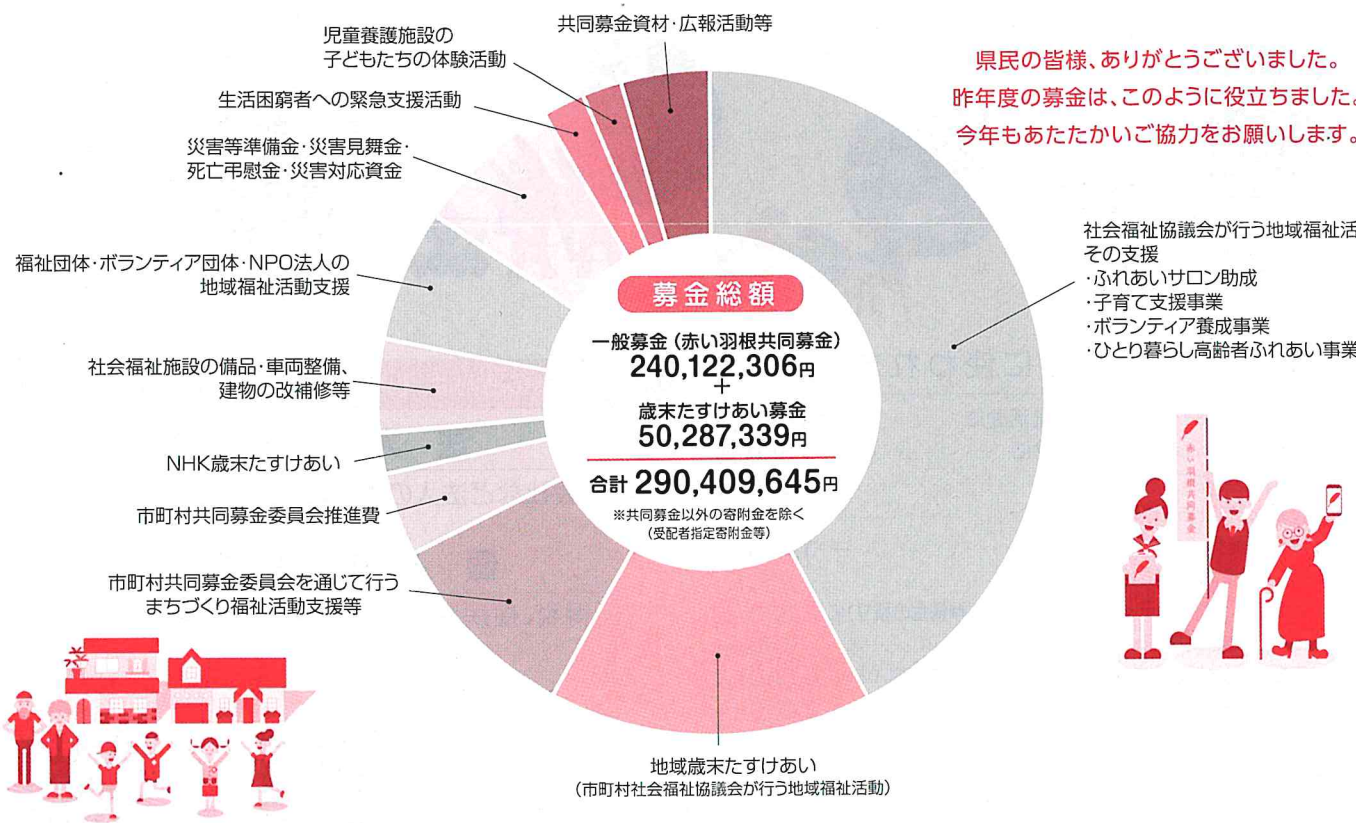


お米の保冷庫や食料品、日用品を購入しました。保管体制を整えたことで、必要な支援をすぐに届けられるようになりました。
また、緊急の食料支援をきっかけに「ぷらっとほーむみさき」や「みんなで食堂」等への参加・支援を通じ、生活再建の一歩につなげることができました。
これからも支え合う気持ちをお届けしていきたいと思います。

美咲町社会福祉協議会（美咲町）

令和7年度 共同募金結果報告

県民の皆様、ありがとうございました。
昨年度の募金は、このように役立ちました。
今年もあたたかいご協力をお願いします。



社会福祉法人 岡山県共同募金会・市町村共同募金委員会
岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3F　TEL 086-223-0065　FAX 086-223-0083
https://akaihane-okayama.or.jp/　E-mail:info@akaihane-okayama.or.jp

令和８年度若手交流会の感想

◆率直に、新見市で頑張っている同世代を知ることができ、刺激になりました。私が勤めている職場には20代が私しかおらず、風通しの良い職場ではありますが、ふと、同世代でもいれば違うんだろうなと甘えたことを考えてしまう自分がいます。しかし、こうやって交流会を企画してくださること今後の励みになるし、ここで知り合いになったご縁で今後の業務やプライベートでの関りがしやすくなると感じました。また、大学時代に資格取得に向けて努力したからこそ今回この場に呼んでいただけたのだと思うと、自分自身の頑張りが認められたようで嬉しい気持ちになりました。

恐らく、新見市内は人口減少と若者の流出が止まらないと思います。だから、今回みたいに若者が主役になる機会をもっと多く実施していただけると、今活躍している人材が一人でも多く新見市内で活躍し続けるんだろうなと思うので、今後もぜひよろしくお願いいたします。この度は誠にありがとうございました。

◆先日は交流会を開いてくださり、ありがとうございました。

行政栄養士として働く中で、市内の医療従事者の方と関わることが無いため、今回の会は、とても貴重な時間になりました。フルーツバスケットやケーキを食べながらのお話は、楽しく会話ができる、とても良いきっかけになりました。またこのような会があれば、ぜひ参加できればと思います。

◆今回はこのような会を開いていただきありがとうございました。

普段は病院の方と関わることがあまりないので、今回同年代で近い職種の方と交流を持つことができ、とても良い機会になりました。地元や大学が同じ方など共通点がある方がいて、この会がないと知ることもなかったと思うので、知ることができて良かったです。また、ケーキを食べながら仕事のこと以外にも、プライベートな話もたくさんすることができ、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。今回の縁をこれからも大切にしてきたいと思いました。ありがとうございました。

◆交流会に参加させていただきありがとうございました。研修や勉強会などで顔を見ることはあっても、じっくり話をする機会はあまりなかったのでよかったです。職場の違いにより会うことの少ない方もいるので、こんなに５年未満の医療・介護従事者がいたのかと驚きました。お知り合いになることができうれしかったです。同郷の方がいることもわかり励みになりました。ありがとうございました。

◆(2名の方から連名でいただきました)
普段かかわることのできない他事業所の方と関われてとても貴重な機会に参加することができたと感じました。フルーツバスケットでの質問や自己紹介からその後の話のきっかけにもつながりました。また来年も機会があれば参加したいです。

◆フルーツバスケットが楽しく交流するのに適していてよかったです。次にあったおしゃべりタイムでは、おいしいケーキも頂けて他職種の方とお話ができたのでよかったです。ゲームの時間を少し減らして、おしゃべりタイムの時間を増やし途中でメンバーを入れ替えて話すことができれば、より多くの人と関われてよいのではないかと感じました。ありがとうございました。

◆同年代の人で、新見で働いている人が意外にいると知れて、交流することができて良かったです。ゲームの時間は少し長く感じました。楽しめるようにいろいろと提案して下さりありがとうございました。

◆フルーツバスケット形式のゲームを通して同世代の医療職の方たちのいろいろなことを知ることができ、貴重な時間になりました。ゲームの時間的には個人的にはもう少し短くても良いかなと感じました。おしゃべりタイムでは、途中で少しメンバー替えがあっても良いのかなと思いました。ケーキがおいしかったです。

◆「どこをさすのかな？」ゲームでは、お互いに体の部位をお題に合わせて指さすゲームで、初めましての関係性だったので、良いアイスブレイクになりました。フルーツバスケットではお題に合わせて椅子を取り合うゲームで、座れなかったら自己紹介というルールは新鮮でした。また、意外と新見出身ではなく、市外や県外出身の参加者の方が多く、新見市の魅力や課題点について知れたのと意外なつながりや個性を知れて良かったです。おしゃべりタイムでは、病院や介護施設の現状や苦労話を聞くことができ、有意義な時間でした。もし可能なら他のグループの方ともお話をしてみたかったです。次回も機会があれば参加してみたいと思いました。貴重な機会をありがとうございました。